

ヤノ・ウッドパワーの業績が低調だと、債務保証損失引当金繰入額7億5300万円を計上した。計画段階から心配のあった、燃料材の安定的調達に困難になっていると聞く。数値は把握しているのか。最悪の場合、市有地の定期借地権への抵当権が実行されることはあるのか、市の財産保全対応など説明されたい。

答 北野建設(株)の特別損失計上は、あくまで「保守的な見地から」、「将来的な損失に備え」計上したものと聞く。事業は長野県、征矢野建材(株)などの民間事業者と本市の3者連携によるもので、サプライチェーンセンターなど原本安定供給のための調整役は県である。本市の役割は事業用地の提供と地元調整などだが、事業経営上の全ての情報や数値を把握できる立場にはない。

(農林課)

要望 この壮大なプロジェクトを失敗させてはならない。なんとしても成功させなければならぬというのが関係者全員の思いだ。そのためには燃料材の安定供給が鍵であり、県の役割と責任は大きい。市長は機会あるごとに、県や阿部守一知事に訴えてほしい。

◆中山間地域の医療充実に向けて

問 在宅で最後を迎えたいと希望する声が聞かれる。看取りまで対応する開業医の先生が多くなっている。中山間地域の医療の充実に向けて、一般診療訪問診療、訪問看護、遠隔医療を一つのパッケージとして進めたいと考えている医療機関がある。DXセンターがオープンしたが、遠隔医療の実証実験に参入する企業はあるか。

答 医療DXという大きな視点では、関心を持つ

ている企業は存在する。企業側は、地方の現場だからこそ見える本質的課題と、課題解決に主体的に取り組む地域のプレイヤーの存在を求めている。(先端産業振興室)

要望 この機会に積極的に進めてほしい。

◆新平出博物館を観光に

問 令和10年度に移転予定の新平出博物館を本市の新しい観光地の一つとして位置づけ、誘客に向けた観光マーケティングなど「観光戦略」を計画に取り入れてはどうか。

答 新平出博物館の可能



平出博物館

性を発揮させるためにも「観光マーケティング」「市場ニーズ」等を研究し、観光面での活用を意識し、整備計画を進める。(観光課)

◆快適な移動手段やSNSを活用した観光ナビ

問 短時間でも楽しめる観光ツールとして、電動自転車の配備はいかがか。

答 シェアサイクルやEバイク観光が注目を集めている。今年度、塩尻市観光協会を中心にサイクルツーリズム事業を実施する予定だ。(観光課)

◆旧チロルの森の後利用

問 チロルの森が閉園しはや2年半となる。後利用についての市としての取り組み状況について確認したい。

答 土地等の所有者である(株)ワールドインテックが主体となり、市とも情報交換をしながら検討を

続けているが具体的な方向性を見いだせていない。また、長野県観光機構とも相談しながら提案されているアイデアの実現性について探っている。検討上の課題として、開発面積だけでも約27ヘクタールと広大であること、冬季の集客が困難であることなどが挙げられている。現状は検討の入口段階にある。

(農林課)

要望 自然・景観を害するような事業(太陽光発電等)は絶対に持ち込まないようお願いする。



閉園したチロルの森